

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第2回 行田市防災会議
開催日時	平成28年2月5日(金) 開会：13時30分・閉会：13時59分
開催場所	行田市役所 3階305会議室
出席者(委員)氏名	工藤正司 平野勝由 渡邊佳子 有山達也 鈴木紀之 天笠隆之 園田誠司 高坂 忠 川島将史 藤井宏美 島田 徹 風間祥一 小林乙三 竹井英修 小林敏信 小林 修 森 郁子 杉山晴彦 児玉敏夫 西浦亮二 坪井浩二 石田和子 鈴木春男 勝田賢一 島澤孝雄 高橋富男 伊藤若菜 木村 誠 加相好章 相原香保留 井上文子
欠席者(委員)氏名	高野英男 岩田雅之 川嶋賢司
事務局	五十嵐課長、柿沼主幹、松本主査、小峰主任、福田主事
会議内容	[報告事項] 報告第1号 本市の災害対応について 報告第2号 今年度の防災対策及び今後の取組みについて [議案事項] 議案第1号 行田市地域防災計画の改正について
会議資料	(資料名・概要等) ・行田市防災会議資料
その他必要事項	傍聴者2名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 工藤会長 事務局 工藤会長 事務局	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（会長あいさつ）</p> <p>議題の進行につきましては、行田市防災会議規程第5条第2項の規定により、会長が議長を務める事となっている。</p> <p>3 議 事（議長：工藤会長）</p> <p>（1）報告事項</p> <p>報告第1号 本市の災害対応について</p> <p>資料1「平成27年度災害時の出動・待機状況一覧」を基に災害時における出動・待機体制の状況を報告した。</p> <p>平成27年11月以降において、出動・待機した事案は2件だった。</p> <p>なお、平成28年1月17日では、大雪注意報、着雪注意報の発令に伴い、2年前の大雪被害を踏まえ、防災行政無線放送、安心・安全情報メール等を活用し、市民の皆さまへ路面凍結やカーポート倒壊の注意喚起を実施した。</p> <p>報告第2号 今年度の防災対策及び今後の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度実施事業一覧について</li> </ul> <p>資料2「平成27年度 実施事業一覧」を基に平成27年度実施事業を報告した。</p> <p>平成27年度自主防災組織リーダー養成講座では、市内の自主防災組織のリーダー94名に参加をいただき、救出・救護訓練、災害図上訓練DIG等を実施した。</p> <p>平成27年度行田市ジュニア防災研修では、今年度対象の市内中学校4校より27名の生徒に参加をいただき、クロスロードや防災学習センターでの防災体験を実施し、中学生の防災意識の高揚と知識の向上を図った。</p> <p>平成27年度行田市防災訓練では、3日間で130団体、293名に参加をいただき、煙体験ハウスによる煙中歩行体験のほか、9月の常総市等の被害を踏まえ、水害に特化した内容の講義を実施した。また、株式会社NTT東日本一関信越様の協力により、災害時伝言ダイヤル体験を実施した。</p> <p>平成27年度自主防災組織リーダー養成講習会では、災害リスク評価研究所の代表松島康生様を講師に迎え、「災害から身を守るために家庭、地域でできること」と題した防災講演会の開催を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時応援協定一覧について</li> </ul> <p>資料3「災害時応援協定一覧表」を基に応援協定の締結状況を報告した。</p> <p>現在、本市が災害時応援協定等を締結している民間企業は54社であり、このうち、平成26年度の防災会議以降に締結した応援協定は5件である。</p> <p>公共機関との災害時応援協定の締結状況は現在23団体</p>

であり、平成26年度の防災会議以降に群馬県桐生市と応援協定を締結した。

・ 自主防災組織（設立数及び設立割合）について

資料4「自主防災組織（設立数及び設立割合）」を基に自主防災組織の設立状況を報告した。

平成28年1月現在の設立自治会数は186自治会中181自治会であり、設立割合は97.3%。昨年度の設立自治会数と比較すると21自治会11.3%増加した。

・ 今後の取組みについて

資料5「今後の取組み」を基に予定している事業について報告した。

今後の実施事業として、表記の事業を予定している。

設備等の整備事業として、平成28年度に埼玉県衛星通信ネットワーク再整備事業を予定している。

防災用備蓄倉庫及び資器材の整備では、須加公民館、星宮公民館、埼玉県立行田特別支援学校、男女共同参画推進センターVIVAぎょうだの4施設に今年度整備した。来年度も引き続き整備を予定している。

備蓄食料の整備では、1万2千食の備蓄食料の更新整備を3月までに実施予定である。

事務局の説明に対し、意見や質問があればお願いしたい。

（委員からの意見や質問なし）

報告第1号及び報告第2号については、ご了承いただきたい。

（2）議案事項

議案第1号 行田市地域防災計画の改正について

修正一覧表及び新旧対照表を基に説明した。

第1回防災会議で諮った行田市地域防災計画の素案について、12月1日から1月8日の期間で市民の皆さまに意見を募集するとともに、担当職員による語句修正等の再検証を実施した。

なお、市民の皆さまから意見が提出されなかったことから、担当職員による検証結果と各関係機関からの指摘事項を基に行田市地域防災計画の素案を修正した。

行田市地域防災計画の素案全体で81箇所を修正しており、その内訳として、第1編では12箇所、第2編では48箇所、第3編では6箇所、第5編では1箇所、第6編では14箇所である。

修正箇所のうち、特に重要な箇所のみ詳細について説明する。

新旧対照表の1ページの市の概況について、本市の面積を67.37㎢から67.49㎢に修正した。この修正は国土交通省国土地理院が行っている全国の面積値の把握方法が昨年度から変更になったことにより修正した。

7ページの一番上の消防無線について、本年度に新たに整

工藤会長

事務局

	<p>備した簡易無線等を追加で記載した。この簡易無線は、消防本部と消防団における情報連絡体制の強化のため整備した。また、MCA無線機の整備については、災害時の職員間の通信手段として有効であることから追加で記載した。</p> <p>10ページの上から2番目の災害拠点病院について、本年1月28日付で埼玉県により災害拠点病院として埼玉医科大学病院が指定されたことから追加で記載した。これにより埼玉県内の災害拠点病院は17箇所となった。</p> <p>11ページの上から2番目の物資備蓄の状況について、昨年度から実施している指定避難所への防災備蓄倉庫の整備事業について追加で記載した。</p> <p>13ページの水害時における避難勧告等の発令基準について、昨年9月に発生した関東・東北豪雨災害を起因として国土交通省により「避難を促す緊急行動」が開始された。その一環により、市では水害対応チェックリストを作成し、水害時における行動をとりまとめ、そのチェックリストに基づき避難勧告等の発令基準を修正した。</p> <p>以上が今回修正したもののうち、特に重要な箇所である。今後の予定だが、本日、委員の皆さまからのご意見等を踏まえ、行田市地域防災計画の製本作業を開始する。3月下旬頃に委員の皆さまへ製本した行田市地域防災計画を郵送する予定である。</p>
<p>工藤会長 井上委員</p>	<p>事務局の説明に対し、意見や質問があればお願いしたい。</p> <p>修正一覧表の1ページ第1編-24「5 災害対応に必要な電源等の確保」で、庁舎用自家発電設備と「連動する」を「連携する」に変更した経緯として、今年4月から始まる電力の自由化に関係あるのか。</p> <p>修正一覧表の2ページ第1編-25で、「自治会、消防団が中心となり」が「自治会、消防団に協力いただき」と変更されている。新旧対照表で確認した際に、「自治会、消防団が中心となり」を削除し、「自治会、消防団に協力いただき」と修正しているが、総合防災訓練は昭和57年位から自治会、消防団が中心ではなかったのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>第1編-24「5 災害対応に必要な電源等の確保」での修正は、電力の自由化に関係なく、連動よりも連携のほうが適しているということで語句を修正した。</p> <p>第1編-25での修正は、防災訓練の内容に触れており、中心というよりもご協力いただいているとしたほうが適しているということで語句を修正した。</p>
<p>工藤会長</p>	<p>他に意見や質問があればお願いしたい。</p> <p>(委員からの意見や質問なし)</p> <p>議案第1号については、ご了承いただきたい。</p> <p>以上で本日本日予定していた議事については、全て終了した。せっきかくの機会なので、行田市の防災対策について、意見等あれば伺いたい。</p>

木村委員	<p>他の市町村では、災害用バルクを設置しているところもある。行田市も多くの学校を避難所として指定していると思われるので、何か所か災害用バルクの設置を検討していただきたい。</p>
工藤会長	<p>企業は在庫を抱えず、岡部油槽所、所沢周辺の油槽所が閉鎖された。東日本大震災の際、どこのガソリンスタンドであっても、3日間位でガソリンは市場から枯渇する。災害後すぐに使用できる設備は大事と思う。</p>
加相委員	<p>要望ということで承る。他に意見や質問があればお願いしたい。</p>
事務局	<p>現在、自治会連合会、防災部会を中心に災害時における自治会連絡網を構築しており、市と協働して実行性のある避難対策ができればと考えているため、今後の方針を伺いたい。</p>
工藤会長 事務局	<p>自治会長の皆さまと市の情報連絡手段として、携帯電話メールアドレスによる連絡網を構築することで、効果的な避難ができる体制作りを目指している。現在、自治会長の皆さまの携帯電話メールアドレスを確認している状況ではあるが、早期に連絡体制を構築し、連絡網を使用した情報伝達訓練を今後実施したいと考えている。</p> <p>以上で行田市防災会議を終了する。</p> <p>4 閉会</p>